

経営比較分析表（平成30年度決算）

長野県 南牧村

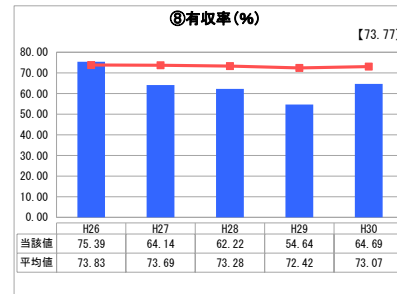
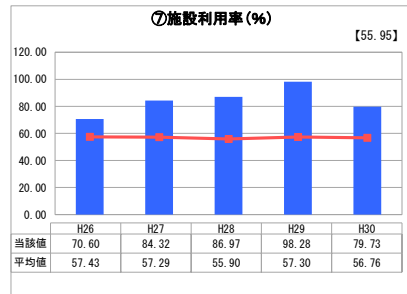
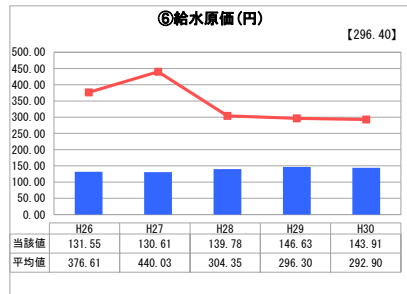
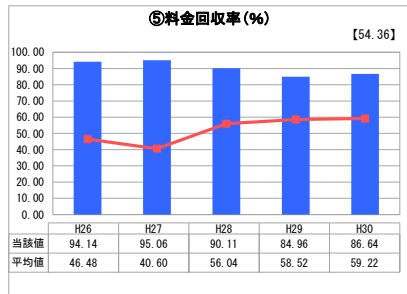
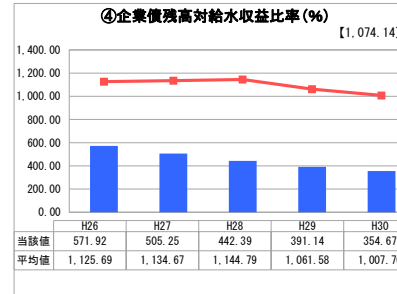
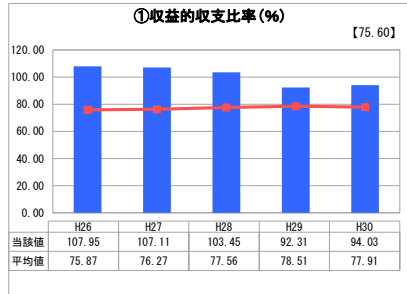
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	99.21	2,550	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,125	133.09	23.48
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,273	21.63	151.32

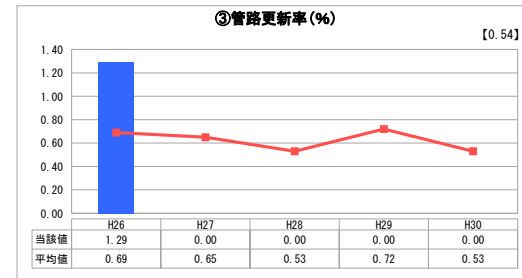
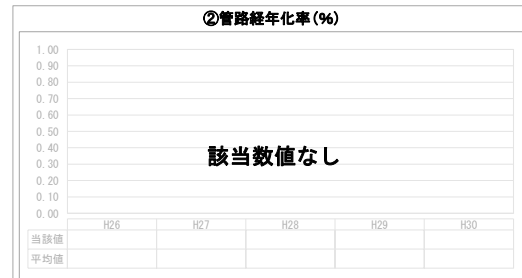
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率が100%を下回っており、健全経営とは言えない。低下の要因としては宿泊客が時期によって大きく変動のある宿泊施設等で使用者によっては料金の支払いで遅くなってしまうことがある。⑧有収率は全国平均等と比べても低く、その要因として水道管の老朽化による漏水が挙げられるが、昨年度漏水調査を行ったことにより、漏水管の修繕により有収率は前年度に比べ僅かだが改善された。しかし、漏水の影響は有収率に留まらず、施設の電気料・塩素購入費等の経費増額をもたらす。今後は収益的収支率を上げるためにも漏水管の修繕をはじめ、健全経営に向かうよう一つずつ改善を進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を過ぎてしまっている配水管が多く、漏水の目立つ地区もある。近年管路更新が行えていないことについても漏水調査と並行しながら経過年数が長い管を優先的に更新を行う。

全体総括

配水管だけでなく水道施設全般に老朽化が進んでおり、設備更新や大規模工事を行う必要があると思われる。一方、一般会計からの繰入金があれば漏水等による修繕工事など部分的な工事に留まっている現状がある。今後は、水道収益を鑑みて低コストで管路更新ができる事業を検討していく必要がある。